



山あたり日

令和5年度学校だより7月号
令和5年6月30日
東久留米市立南町小学校
校長 永瀬 功二
TEL 042(461)2662

学校ホームページ <http://www.higashikurume-school01.jp/~minami-e/>

教育活動の着実な再開 これまでのご協力に感謝申し上げます

校長 永瀬 功二

明日から7月となり、1学期の登校日数も残り13日となりました。少し早いですが、今年度これまで3か月の教育活動を振り返ってみると、新型コロナウイルスの感染症対策に全力で取り組む3年間から「**学校の日常生活と教育活動の再開**」に大きく方向転換ができた3か月でした。

まず、4月にはマスクの着用が個人の判断によることとなりましたが、4月当初は8割近くの児童がマスクを着けていました。考えてみれば、子供たちにとって記憶が鮮明なこの3年間は、学校も含めて家の外ではほぼマスクを着けていました。家族以外の方に顔の大部分を見せない生活をしてきた3年間から、マスクを外すことに不安や抵抗がある子もいるようでした。

一方で、4月以降は感染の拡大が見られないことや5月8日に新型コロナウイルスが5類感染症に移行したことなどから、学校では段階的に着実に、教育活動の再開の歩みを進めてきました。

学習活動では、以前は手をつなぐことや顔を向き合わせて話し合うことなどには制限があり、音楽の歌唱やリコーダーの演奏、体育で友達と一緒にやる運動や家庭科の調理実習など、できない活動もありました。現在はそれらの制限がほぼなくなり、授業や集会活動などで**子供たちが楽しそうに交流しながら生き生きと取り組む姿**がたくさん見られるようになりました。

校外学習でも、昨年までの「公共交通は使わず／短い時間で／お弁当も黙食で」から、4年生以上は電車も利用し、お弁当の時間は楽しく話をしながら、友達と一緒に校外で1日たっぷりと過ごし、大いに満足して帰ってくる子供たちの姿が印象的でした。

教育活動の公開も、昨年度までは密集を回避するために、校舎に入る時間や人数の制限をお願いしていましたが、今年度は5月6月と段階的に制限を解除し、6月には人数も時間も制限なくご参観いただきました。子供たちが大勢のご家族の前で張り切る姿に、「**ようやくここまでこられた**」と感慨も一入でした。

このように、4月から教育活動を一步步着実に再開することができたのは、ひとえに保護者・地域の皆様が、常に学校の教育活動と感染症対策にご理解ご協力くださったお陰です。改めまして心より感謝申し上げます。学校では引き続き、子供たちの心身の健康と安全を第一に、さらなる教育活動の充実に努めて参ります。ご家庭でもぜひ、この夏休みはご健康にご留意されながら、お子様が夏休みならではの経験を心おきなくできる「4年ぶりの夏」をお過ごしください。



6年生 榛名移動教室



青少協 サツマイモの苗植え



みなみまちっちなわピック